

神奈川県立津久井やまゆり園で 起きた事件について

7月26日に神奈川県相模原市の障害者施設津久井やまゆり園において、19人もの尊い命が奪われ、20数人の方が負傷されるという凄惨な事件が起きました。被害に遭われ亡くなられた方々、そして、ご家族の皆様が哀悼の意を表しますとともに、負傷された方々の一日も早いご回復をお祈り申し上げます。日身連は、日本障害フォーラム(JDF)の構成団体として、同じく声明をともしするものです。

社会福祉法人日本身体障害者団体連合会
会長 阿部一彦

神奈川県相模原市の障害者施設で起きた事件について(声明)

2016年7月26日に神奈川県相模原市の障害者施設で起きた悲しい事件を受け、犠牲者ならびにそのご家族、関係者に深く哀悼の意を表するとともに、負傷された方々の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

他人の命や生活を一気に奪い去るこのような行為は、いかなる理由があっても断じて許されません。

このたびの事件は社会に大きな衝撃を与えています。私たちはこの事件により、特に障害者を含む、社会的に不利な立場にある人たちの命が決して軽視されることのないよう、むしろ、犠牲者の方々に深く心に刻み、一人一人の命の重さについて考え認識するきっかけとなることを願っています。

なお容疑者に精神科病院の入院歴があることが報じられていますが、精神障害についての偏見が広まることのないよう、報道や学術を含む関係機関には、事実関係を踏まえて適切かつ冷静に対応していただくよう希望します。

私たちは、このようなことが二度と起こらないよう事件の真相の究明を求めるとともに、このことを通じて、社会の中で深く議論し、障害者を含むさまざまな意見を寄せ合い、誰もが排除されることなく安心して生活できる地域や社会づくりを呼びかけます。

2016年7月29日
日本障害フォーラム(JDF)

日 身 連

発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
発行人 阿部一彦
東京都豊島区目白3丁目4の3
ディアダックビル4階
TEL 03-3565-3399(代)
FAX 03-3565-3349
<http://www.nissinren.or.jp>
Japanese Federation of
Organizations of the
Disabled Persons (JFOD)
年間購読料 正会員1部 300円
非会員1部 1000円

障害者110番研修会を開催 障害者差別解消法施行後 何が求められるか



講師の橋口亜希子氏



講師の尾上浩二氏

6月30日、衆議院第二議員会館会議室(東京都千代田区)において北海道から沖縄まで、全国の障害者110番事業担当者の方など60名が参加し、「平成28年度障害者110番運営事業研修会」が開催されました。

研修会に先立ち、阿部一彦日身連会長からは、「障害者差別解消法が施行され、障害を理由とする差別の禁止と新しい概念として合理的配慮の提供が定められた。この法律を地域に根づかせ、大きく育てていくためにも、私たちそれぞれが正面から向き合って取り組んでいかなければならない。本日の研修会が、解消法について考える機会として、また、意見交流の場として、研鑽を積んでいただければ幸い。」と挨拶しました。

◆発達障害を知ることから 研修をスタート

まず午前は、相談窓口へ寄せられる相談が多種多様であることから、発達障害にテーマをしぼり、発達障害ネッ

を受容するまでの葛藤や、家族や学校近隣住人とのさまざまな経験をお話いただきました。特に、経験を通して、発達障害の方やその家族が何を必要とし、またどのような対応が求められるのかについて、事例と併せて、分かりやすくお話ししていただくなかで、「障害」に対する理解と認識が極めて大切であり、そのことをしっかりと踏まえて相談に向かい合う姿勢の重要性を共有することができました。

◆グループ討議でより実践的に研修

午後からは、「障害にもとづく差別や合理的配慮の提供に関する相談」をテーマに、昨年へ続き、グループ討議・意見交流を行いました。まず、グループ討議に入る前に、日身連が制作

トワーク事務局長の橋口亜希子氏に「発達障害への理解と合理的配慮について」と題して講演しました。発達障害児の親である同氏からは、親としての子どもの障害